



食の安全についての取り組み

組合員さんより食品添加物へのご意見や原材料表示について多くの声が届いています。
食品添加物へのよどがわ生協の考え方と取り組みについてご案内いたします。

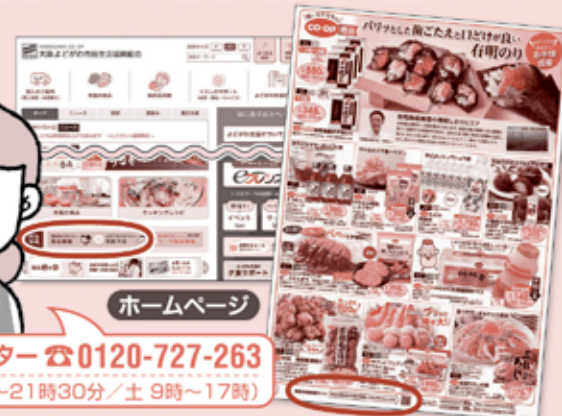


商品案内(カタログ)では、法令で表示義務のあるものを優先し、商品情報を表示しています

商品情報の表示については、多くの組合員さんよりさまざまなご要望をいただいています。アレルギーにかかわる表示、使用原材料や添加物、カロリー・塩分以外の栄養成分、加工地情報などです。

また一方で、商品の掲載品目掲載スペース、文字の大きさや文字数など、商品案内の見やすさを考慮して紙面作成を行っています。そのため、多くの組合員さんが必要としている情報を整理しながら厳選して表示をしています。

以上の現状から、たくさんのよりくわしい商品の情報は、紙面表記するのが難しいため、よどがわ生協ホームページ内の「原材料が知りたい 商品情報検索」で調べることができます。携帯電話(スマートフォン)を使い、カタログ「食べてスマイル」4ページ下の欄外の商品情報検索サイトのQRコードにてご確認もできます。また、コールセンターでもお電話での問い合わせ受付をしています。これらの方法で、商品情報をお届けしていますので、どうぞご利用ください。



ホームページ

コールセンター ☎0120-727-263
(月～金 9時～21時30分 / 土 9時～17時)

「食べてスマイル」のカタログ



全国の生協と協同し、食の安全対策を国に求めています

生協では高度成長期より、消費者不安のあった食品添加物について、全国の生協と協同して食の安全対策を国へ請願してきました。こうした組合員さんと生協の活動は国にも影響をあたえ、2003年には「食品安全基本法」が制定され、個々の添加物の科学的な安全性検証やリスク管理が行われる

ようになりました。また、添加物の情報開示がすすみ、これまで科学的根拠が不透明なため、生協では使用を見合わせていた物の安全性も判断できるようになりました。今後も、生協は科学的知見から、問題のない添加物を使用できるよう、管理添加物を取り決め、食品に「使用しないもの」「制限するもの」を定めていきます。



遺伝子組み換え原料の現状とよどがわ生協の考え方

遺伝子組み換え原料の確保と分別管理は、世界の農産物生産・輸入での管理体制や政府の政策に左右される問題となっているため、生協独自では、原料の管理・排除できないのが現状です。

アメリカを中心とした生産国は、遺伝子組み換え作物に肯定的です。生産拡大方向で、原料は「不分別」管理しています。ただ、ヨーロッパや日本などの組み換え作物を敬遠する国への配慮で、一部「分別した管理」を後押ししている状況です。

また、日本の食料自給率は低いため、国内で消費する食料は「遺伝子組み換えでない原料」だけでは、まかないきれないのが現状です。そのため「不分別」での商品化は、日本の食料自給率ではやむを得ない状況となっています。

よどがわ生協の遺伝子組み換えに対する考え

- 「遺伝子組み換え食品」については、「実質的同等性」(※組み換え農産物と元の農産物を比較し、構成・栄養素などに変化がなければ、「安全」については元の農産物と同じとみなす)の考え方など、未解明な部分が多く、慎重に対応すべきと考えています。
- プライベート商品については、「遺伝子組み換え原材料を可能な限り使用しない」ことを優先的に進めています。
- 国内の自給率が低く、輸入時点で原料が区別されず、表示もされていない現状では、「遺伝子組み換え食品」を独自で排除することは極めて困難です。



今後について

よどがわ生協は、組合員の知る権利を守る立場から、JAS法を遵守し、今後も国・行政に対して安全確保の公的システム、情報公開など、消費者が安心して「食」に対して選択し利用できるよう、他団体とともに引き続き取り組みを強化していきます。(「遺伝子組み換え食品」の紙面表示については、2001年4月より改正しJAS法品質表示基準に基づいています。)



生協の食品安全基準をもとに、「安全・安心」のための商品検査をしています

食品添加物の使用基準を設け、管理しています

安全性の確保が不十分な物質は使用しません。「遺伝毒性発がん物質」および「日本生協連合会のリスク評価により安全を見込むことができない12品目」を不使用としています。有用性や必要性を検討し、不要な添加物は使用しません。おおさかパルコープ商品検査室にて、組合員に提供する商品の安全性の確保を目的として2011年6月より検査を行っています。くわしくはよどがわ生協ホームページにて事前検査の結果報告を掲載していますので、ご覧ください。

各種商品検査については、毎月この「機関紙よどがわ」にも掲載しています!



7月度 商品検査報告

6月21日～7月20日

安全・安心の商品をお届けするため、商品検査室で検査を行っています。放射能検査の取り組みは、よどがわ生協のホームページにも掲載しています。

★商品検査の取り組み状況

商品検査数 1,639件(前年 1,662件)

検査の種類	検査件数	注意品	内容と結果
微生物検査	1,150	9	再検査・継続検査・調査を要するものが、9品ありました。
残留農薬検査	72	なし	問題ありませんでした。
食品添加物検査他	99	なし	問題ありませんでした。
残留放射能検査	89	なし	生鮮・一般食品を検査し、すべて検出はありませんでした。(検出限界値は20ベクレル/kg)
卵質検査	226	なし	問題ありませんでした。
外部委託検査	3	なし	問題ありませんでした。

※おおさかパルコープ商品検査室にて実施



<http://www.yodogawa.coop/>

よどがわ生協 検索

今月の
生協さん
第5支所



委託配達: クーバル
坂本・眞津・吹田担当
小林 健太 (こばやし けんた)

9月でもまだまだ暑いですが、配送は元気ががんばりますのでよろしくお願ひします。



エコアクション21
認証・登録番号 0006727

よどがわ市民生活協同組合は環境マネジメントシステムに基づいた取り組みを行っています。